

## 病院だけでは学べない継続看護 ～新卒看護職員研修・訪問看護実習を実施しました～

令和3年9月7日～10月27日に、津川病院、松代病院、柿崎病院に分かれ、新卒看護職員に対して訪問看護・診療の同行研修を実施し、新卒看護職員（48名）が参加しました。研修では訪問看護の実践がわかること、生活の場での療養者を理解し、職場での退院支援に活用できることを目的として行いました。

### 【研修スケジュール】

9:30	病院集合、更衣
9:45	訪問看護室で事前説明を受け、準備
10:00 ～12:00	訪問看護・診療同行（2軒程度）
12:00 ～13:00	休憩・昼食
13:00 ～16:00	訪問看護・診療同行（2軒程度）
16:00	帰院、振り返り
16:30	終了



▲先輩看護師の看護を見学します。



▲研修者も実際に看護を実践します。

研修参加者からは「療養者さんのケアをして終わりではなく、介護に責任を持ち頑張っている家族に対して、温かい声かけや指導を行っていたことが心に残った」、「療養者さんの情報を外来や病棟職員にも提供しており、病院全体で連携ができていると感じた」、「療養者さんが前回訪問からの出来事を楽しそうに話すのが印象的だった」などの感想がありました。

地域医療病院でしか経験できない看護の提供方法や、家庭内での療養者と家族の姿を目の当たりにし、地域で支える在宅医療について学ぶとともに、職場での退院支援に活かせる貴重な体験になったと思います。

訪問看護について、訪問看護師さんに聞きました。

病棟と在宅の大きな違いは何ですか。

病院は24時間医師や看護師による医療やケアが受けられる安心感がありますが、医療機器等に囲まれる生活はこれまでの生活環境から大きく変わるため、表情には緊張感がみられます。一方在宅では聞き慣れた生活音や風景があるので表情が穏やかになっています。

訪問看護を行う上で、気をつけていることは何ですか。

訪問看護には主役である療養者さんとそのご家族の理解が必要です。介護者の存在があって在宅療養が可能なため、家族の思いを尊重して信頼関係を保つことが大切です。看護師は良き相談者、病院と地域の橋渡し役になることが必要です。

そのため療養者さんだけでなくご家族の体調にも配慮するように心がけています。

訪問看護のやりがいを教えてください。

在宅療養を経て看取った療養者さんのご遺族から「私、母と先生と看護師さんと一緒にいる時間がすごく好きで、来てくれるのが待ち遠しかった。その時の母の笑顔を忘れない。」というお話をいただきました。ご遺族にとって少しでも満足した時間を作れてよかった、という思いになりました。

このような関係性の構築が、訪問看護師の励みや支えになっています。



▲病院と地域の橋渡し役を担っています！

#### 【編集後記】

訪問看護では、医療と生活の両方の視点から「その人らしい暮らし」を支援する役割があると思います。研修では、療養者・家族の意思や生活を尊重しながら、どのように訪問看護が実施されているかを体験し、学びの多い研修となったのではないのでしょうか。

### お知り合いの助産師さん・看護師さんに ぜひお知らせください！

～助産師1人・看護師34人 追加募集中！～

#### 【受付期間】

令和3年11月10日（水）  
～12月1日（水）

#### 【考査日】

- ・令和3年12月22日（水）
- ・令和3年12月23日（木）

詳しくはこちらをご覧ください▶



～いつでもどこでもご相談できます～

### 看護職オンライン個別相談会実施中！

県立病院で働く看護師が、転勤・教育体制・福利厚生・職場の雰囲気・子育てなど、相談に応じます。

1年を通じて受け付けておりますので、気になる方はお気軽にご利用ください。

詳しくはこちらをご覧ください▶



お問い合わせ先：病院局総務課人材確保育成班（TEL025-280-5561）